

第7章 取組状況の評価

空家等対策の推進に向けて、本計画の進捗や成果を評価するため評価指標を設定します。評価にあたっては、各取組により「予防抑制」「適正管理」「利活用」の効果等が発現できているかを評価指標により確認します。

	評価指標	実績値 (令和5年度)	目標値 (令和16年度)	評価指標の考え方
予 防 抑 制	使用目的のない空家数 ※住宅・土地 統計調査	3,730 戸	3,730 戸	空家等に関する普及啓発や空家セミナー等により管理意識の醸成を図り、これ以上空家等を増やさなくすることで、空家化の予防抑制につなげます。
	空家 セミナーの 参加者数 (累計) ※市主催・ 共催のみ	174 人	400 人	
適 正 管 理	空家等の新規 相談件数	41 件	30 件	空家化の予防抑制により管理不全の空家等の通報や相談を減らし、適正管理につなげます。 管理不全空家等、特定空家等に対する指導の実施により、確実な改善につなげ、適正管理を促進します。
	指導した管理 不全空家等、 特定空家等の 改善率 (累計)	100% 〔特定空家等 2件/2件〕	100%	
利 活 用	所有者等の 意向把握率	61.4% (35 件/57 件)	75%	適正管理により所有者等の意向把握の機会を増やし、ニーズに応じて空き家コールセンターや不動産団体等と連携した利活用につなげます。
	外部相談窓口 を活用した 件数 (累計)	1 件	30 件	